

# 鹿児島大がV B設立

## シュガーチップを製販

鹿児島大学大学院理工学研究科の隅田泰生教授らは、バイオデバイスのシュガーチップおよび糖鎖固定化金ナノ粒子を販売するベンチャー「ステイクスバイオテック」(神戸市中央区、隅田泰生取締役)を設立した。構造が明確な糖鎖をナノ

メートルスケール(ナノは10億分の1)で金に固定化したシュガーチップの開発に成功、商品化を目的に立ち上げた。製薬・食品メーカーや公的研究機関に販売し、09年度年商1億円を計画。さらに検査・診断分野に向けた研究開発を進め、20

12年度には株式公開を目指す。

科学技術振興機構(JST)のプレベンチャー制度の研究成果で、JSTが3日発表した。ライフサイエンス分野で次世代ポストゲノム研究として、糖鎖科学が注目されている。しかし、

分子レベルの研究には構造が明確な糖鎖を確保するためには多大な労力と費用が必要。

研究チームは糖鎖科学研究を飛躍的に進めるために、開発したシュガーチップおよび糖鎖固定化金ナノ粒子を研究機関などに提供するため、ベンチャーを設立した。今回のベンチャー設立で、JSTが手がけた大規模ベンチャーは52社となった。